

# 事前課題①-1

／ 氏名：

／ コース／受講番号：

## 事例（水道橋 久さん）本人を知るためにの地図

★私は、今までこんな生活をしてきました。生き方をしてきました。

【技能、才能（できること、得意なこと、スキル等）】



★私は今このような環境で生活をしています。

★私の不安や気にしていること、困り事は〇〇です。

【興味・関心・願望（本人が関心を持っていること、学びたいこと、モチベーションとなること等）】

【ご本人を取り巻く「環境面」で、ご本人のストレングスを強めるもの。友人がいる。親が協力的である。習い事をしている、住まいがある、支援者がいる等】】

★私が今、希望する暮らしし、願いは〇〇です

★私の将来の夢・希望、暮らしは〇〇です

## 事例（水道橋 久さん）の100文字アセスメント



私（水道橋久）は・・・

（字）

## ※100文字アセスメントについて

目的	・個別支援計画を作成する際、大切な事の1つとして「本人主体、本人目線」があります。 しかし、作成をしていく段階で、知らぬ間に支援者目線や支援者主体となったり、課題克服の計画になってしまることが起ることがあります。それを防ぐ方法として100文字アセスメントがあります。
活用方法	・ご本人の想いや核心を捉え、支援の軸（本質）を定めることにつながります。 ・ニーズ整理や個別支援計画を作成する際に迷ってしまった時には、100文字アセスメントに立ち返り考えてみます。
留意点	・ご本人の解決したい課題・困りごと等の「思い」を本人の視点で100文字程に要約、アセスメントします。 ・主語は「私」「僕」「俺」等で始めます。 ・アセスメントから知り得た情報（想い、夢、ストレングス、困りごと等）をご本人の言葉をそのまま使って作成します。 ※作成時に、本人の言葉を容易に変換してしまうと、その意味合いや想いまで変わってしまうため、本人の言葉はそのまま使います。

注意：以下は、書き方の例であり、事前課題の事例のものではありません。

（平成30年度サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者指導者養成研修の資料より抜粋）

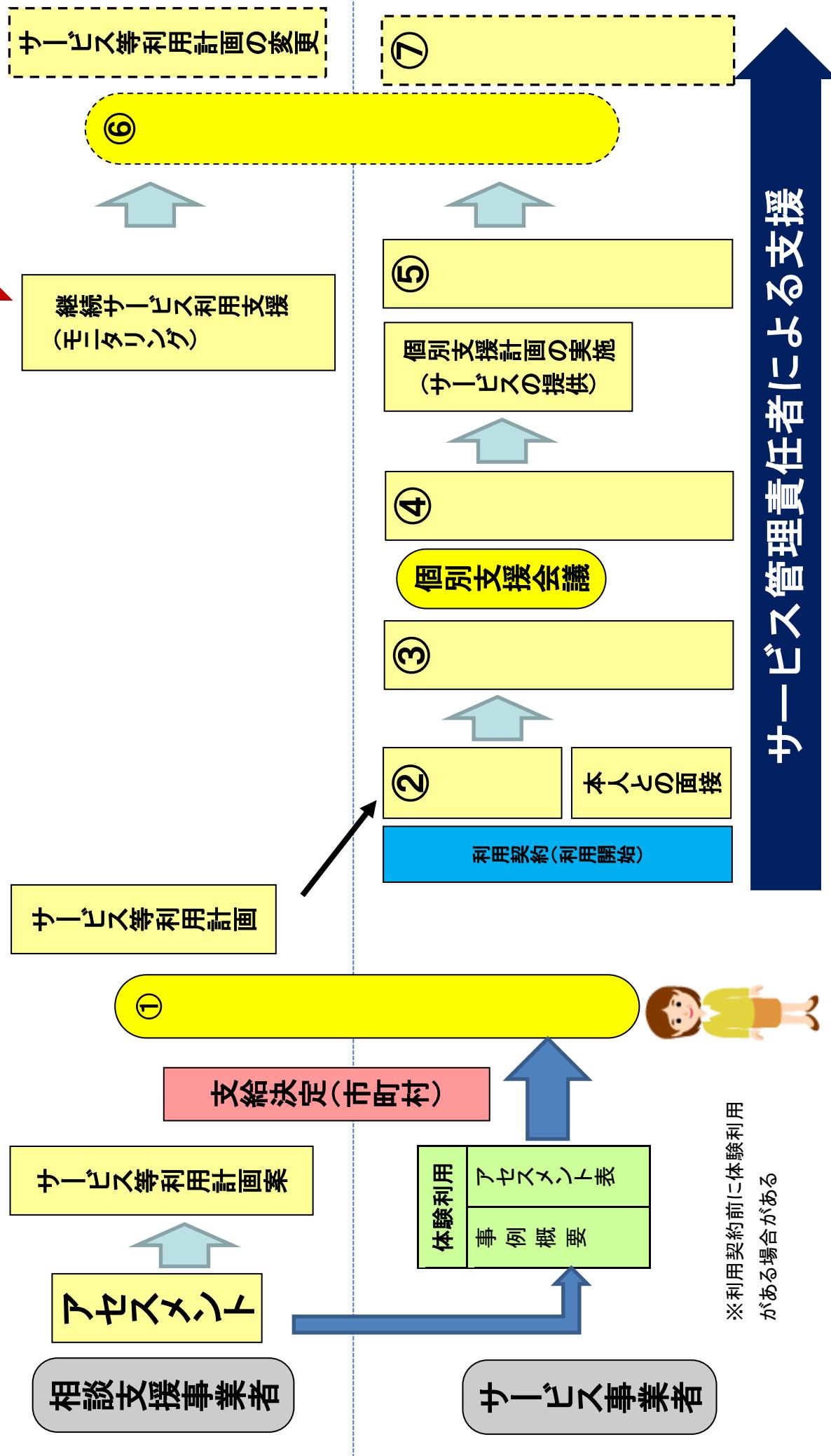
例① ぼくは、入院して10年目。日常家事はうまくできないけれど、退院後はお金を自由に使ったり、人を気にせず自分のペースで生活したいので、アパートで一人暮らししたい。でも保証人もいないし・・・。それにどんな一人暮らしになるのかな？（108字。精神障害、統合失調症のある方）

例② 私は、病院や施設に入らずに自宅で介助者のサポートを受けながら生活していきたい。でもこのままだと夫の体調やお金の負担も心配。だれか私を介助してくれる人が来てくれないかしら・・・。（87字。身体障害、肢体不自由のある方）



## 相談支援専門員とサービス管理責任者の連携

### 相談支援専門員による支援



コース: \_\_\_\_\_ 受講者番号: \_\_\_\_\_ 氏名: \_\_\_\_\_

### 事前課題③

#### サービス管理責任者の視点

講義5「個別支援計画作成のポイントと作成手順」を復習し、講義で取り上げられたサービス提供のプロセスの場面ごとに、サービス管理責任者として留意すべき視点を記入してください。

サービス提供のプロセス	サービス管理責任者の視点
相談支援時の状況把握	
アセスメント(初期状態の把握)	
アセスメント(基本ニーズの把握)	
アセスメント(課題の整理)	
個別支援計画の作成	
個別支援計画の実施	
モニタリング(個別支援計画の評価)	
個別支援計画の修正	